

調達機器、ライセンス・作業仕様書

1. LGWAN 機器

(前提条件)

LGWAN との連携に関して、LGWAN 中継、DNS、Mail、NTP 等の必要な機能を有するサーバを構築し、各機能を割り当てる。セキュリティおよび可用性、保守性を考慮し、必要最低限のサービスのみを使用する。

| 機能 | 仕 様 内 容 | 備考 |
|-------|--|--|
| サーバ機器 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ラックマウント可能なこと 2. ファイアウォールと独立したサーバ専用ハードウェアであること 3. インテル Xeon プロセッサ 6333P (3.10GHz/6コア/18MB) クラス以上の CPU であること 4. メモリは 16GB 以上を実装し、最大 32GB まで拡張可能であること。 5. オペレーティングシステムは、メーカーの標準インストール製品とし、メーカーのサポート製品であること Red Hat Enterprise Linux 8.2 相当以上であること 6. 300GB 以上の SAS ハードディスクドライブを 2 基以上搭載し、RAID1 に対応できること 7. HDD はホットプラグ対応のこと 8. LAN2 ポート (1000BASE-T/100BASE-TX、10BASE-T) を有すること 9. 本サーバにて DNS サーバ、メールサーバ、NTP サーバを動作させること 10. 17 インチ、キーボード/タッチパッド付きコンソールを有すること。背面ケーブルがきちんと束ねられていること 11. 無停電電源装置を準備し、本装置より電源供給を受けること。 12. 再資源化可能率が 100% であること。 13. 外部媒体へバックアップを保存すること。 | <p>LGWAN は 24 時間運用を前提としているため、高信頼性の SAS ディスクで RAID1 構成とすること。</p> <p>24 時間 365 日のハードウェアオンサイトサポートが可能で、サービスエンジニア到着目標時間を 2 時間以内とすること。</p> <p>O S である「Red Hat Enterprise Linux」のプロダクト ID の費用 5 年分も含めること。</p> |

2. グループウェア機器

(前提条件)

グループウェア構築に必要な機能を有するサーバを構築し、各機能を割り当てる。セキュリティおよび可用性、保守性を考慮し、必要最低限のサービスのみを使用する。

| 機能 | 仕 様 内 容 | 備考 |
|-------|--|---|
| サーバ機器 | 1.ラックマウント可能なこと 2.ファイアウォールと独立したサーバ専用ハードウェアであること 3.インテル Xeon プロセッサ 6333P (3.10GHz/6コア/18MB) クラス以上の CPU であること 4.メモリは 16GB 以上を実装し、最大 32GB まで拡張可能であること。 5.オペレーティングシステムは、メーカーの標準インストール製品とし、メーカーのサポート製品であること Windows Server 2022 Standard 相当以上であること 6.1.8TB 以上の SAS ハードディスクドライブを 6 基以上搭載し、RAID1 または RAID5 に対応できること 7.HDD はホットプラグ対応のこと 8.LAN2 ポート (1000BASE-T/100BASE-TX、10BASE-T) を有すること 9.本サーバにてグループウェア、メールスプールサーバを動作させること 10.17 インチ、キーボード/タッチパッド付きコンソールを有すること。背面ケーブルがきちんと束ねられていること 11.無停電電源装置を準備し、本装置より電源供給を受けること。 12.再資源化可能率が 100% であること。 13.外部媒体へバックアップを保存すること。保管世代は 3 世代とする。 | 24 時間運用を前提としているため、高信頼性の SAS ディスクで RAID1 または RAID5 構成とすること。 24 時間 365 日のハードウェアオンサイトサポートが可能で、サービスエンジニア到着目標時間を 2 時間以内とすること。 |

3.ファイアウォール 兼 スイッチ

(前提条件)

本ファイアウォールは、LGWAN の都道府県ノードと箕輪町とのネットワークを接続するにあたり、庁内ネットワークへの不正侵入を防止する目的で設置するものであり、インターネットから庁内ネットワークへの攻撃を防ぐものとしては使用しないものとする。

| 機能 | 仕 様 内 容 | 備考 |
|------------|---|--|
| ファイアウォール機能 | <ol style="list-style-type: none">1. ファイアウォール専用ハードウェアであること2. フラッシュメモリ起動型の製品であること3. パケットフィルタリングはアプリケーションゲートウェイ方式に対応していること4. ネットワークインターフェイス単位にルールの定義が可能なこと5. ログ採取機能を有し、アクセスの追跡が可能なこと6. ログを外部ファイルとして出力可能なこと7. 10/100/1000BASE-T (RJ45) を 5 以上ポート実装のこと8. NAT (1 対 1、1 対 N) を有すること9. IPv4 スタティックルーティング、および、ポートベース/IEEE 802.1Q タグベース VLAN に対応可能であること10. 少なくとも 4 個以上の IPv4 vlan インターフェイスを作成でき、かつ、それらをルーティングインターフェイスとして利用できること11. ルーティングプロトコルとしてスタティック、RIP/RIP v 2、OSPF、BGP4 をサポートすること12. P2P ソフト (Winny、WinMX、Napster、Share、BitTorrent など) の遮断が可能なこと13. 時刻同期機能を有すること14. 将来構成として二重化に対応可能なこと15. 二重化する場合においては、オプションソフト等を必要としないこと16. 二重化する場合においては、フェイルオーバーが発生時にセッションを維持することが出来ること。17. Web ブラウザを利用した日本語表示での管理が可能なこと18. インターフェース変更 (ネットワーク構成変更) で、装置再起動が不要 (動的定義変更が可能) なこと19. 設定内容をバックアップし、障害発生時に迅速に復元が可能なこと20. Telnet、FTP、SSH による遠隔からの保守機能をサポートすること21. 保守用インターフェースとして 10/100BASE-TX 以上を装備すること22. Syslog 転送機能をサポートすること23. 障害発生時にはオンサイトでの保守対応が可能なこと | 24 時間 365 日のハードウェアオンサイトサポートが可能で、オンサイト対応ができ、サービスエンジニア到着目標時間を 4 時間以内とすること。 |

4. その他

(前提条件)

項番 1 ～ 3 に記載していない、調達機器、ライセンス類、作業項目の想定は以下の通りとする。

構築に必要な機器、ライセンス、作業で他、必要なものは事業者にて適に追加すること。

| | |
|--------------------------------------|-------|
| Windows Server 2025 Standard 2Core | 16 式 |
| Windows Server 2025 - 1 Device | 400 式 |
| メールソフト 500 ユーザ(5 年分) | 1 式 |
| サーバ用ウイルス対策ソフト(5 年分) | 4 式 |
| グループウェア ライセンス 400 ユーザ(5 年保守含む) | 1 式 |
| ※業務アプリ作成ツールの利用ユーザは 300 ユーザとする。 | |
| 環境構築準備(打合せ等含む) | 1 式 |
| サーバ構築 | 1 式 |
| ネットワーク構築 | 1 式 |
| 既存クライアント端末調整 | 1 式 |
| 監視環境構築 | 1 式 |
| 全体管理等 | 1 式 |
| メール統合運用に伴う設定作業 | 1 式 |
| グループウェア導入/構築 (データ移行なし) | 1 式 |
| グループウェア操作研修(管理者 1 回,一般 3 回) | |
| ※業務アプリ作成ツールの操作研修は管理者向けに別途 2 回実施すること。 | |
| 梱包材引取り処分 | 1 式 |